

平成 30年 10月 25日

(あて先) 一宮市長

〈申請者〉

所在地 一宮市木曾川町黒田城東1-1

団体名 木曾川文化創造ワークショップ

代表者 職・氏名 運営委員長 長谷川一貴

一宮市市民活動支援金交付申請書

一宮市市民活動支援金の交付を受けたいので、一宮市市民が選ぶ市民活動に対する支援に関する条例第5条の規定により、下記のとおり申請します。

記

1 事業の名称	きそがわふれあいコンサート(公演)		
2 事業の分野 〔主たる分野を一つ 選択し、○で囲んで ください。〕	保健・医療・福祉 観光の振興 環境の保全 人権・平和 子どもの健全育成 経済活動 NPO支援	社会教育 農山漁村・中山間地域振興 災害救援 国際協力 情報化社会 職業能力・雇用機会 その他(まちづくり 文化・芸術・スポーツ 地域安全 男女共同参画 科学技術 消費者の保護)
3 支援金交付申請額	638,400円		

(算出基礎)

事業に要する経費 (a)	1,238,400円
事業に要する経費のうち対象となる経費 (b)	1,210,400円
当該事業によって得られる収入 (c)	600,000円
支援金交付申請額※ 上限:「(b)×2/3」または「(a)-(c)」のいずれか高くない方	638,400円

※ 1円未満切捨て

4 添付書類

- (1) 一宮市市民活動支援に係る団体調書(様式2)
- (2) 一宮市市民活動支援金申請事業に係る計画書(様式3)
- (3) 一宮市市民活動支援金申請事業に係る収支予算書(様式4)
- (4) 団体の規約その他これに類するもの



備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4(片面印刷)とする。

一宮市市民活動支援に係る団体調書

団 体 名	木曾川文化創造ワークショップ		
市内事務所の所在地	〒493-0001 一宮市木曾川町黒田城東1-1 城東コーポラス202		
代表者職・氏名	運営委員長 長谷川一貴		
設立年月	2004年 4月	構成員の人数	52 人
U R L	https://www.kbs-ws.net/		
連絡先 ※この申請に関する 問合せに対応できる方	(担当者氏名) 長谷川一貴		
	電 話	090-3587-5729	F A X なし
	E-mail	info@kbs-ws.net	
団 体 の 目 的	木曾川文化会館を地域の文化創造と文化交流の拠点として、 文化的事業を行い、地域文化の向上と文化が地域に根ざす まちづくりに寄与する		
主 な 事 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・木曾川文化会館に関する地域住民の立場からの提言 ・文化会館に係る情報の地域住民への広報広聴活動 ・自主企画事業 ・企画運営に関する学習 ・その他本会に必要な事業 		
主 な 活 動 の 実 績	<ul style="list-style-type: none"> ・文化会館に関して、市や指定管理者との意見交換 ・きそがわふれあいコンサートの開催 (年4回) 2018年10月現在 67回開催 ※1~59回は木曾川公民館講堂 60回以降は木曾川文化会館にて開催 ・きそがわふれあいコンサート in イオンモール木曾川の開催 (年数回) ※過去に105回開催 (2018年10月現在) ・木曾川文化会館オープニング記念公演事業への参加 		
今年度予算額	981,000円	昨年度決算額	983,387円
条例第2条第3項 に掲げる要件につ いて	<input checked="" type="radio"/> すべて満たしている <input type="radio"/> 一部または全部満たしていない		
市からの他の 補助等の有無	有 (補助金等の名称:) <input checked="" type="radio"/> 無		

一宮市市民活動支援事業に係る計画書

団体名	木曾川文化創造ワークショップ
事業の名称	きそがわふれあいコンサート（公演）
事業の内容	<p>(1) 実施期間（準備期間や後処理期間も含めてください） 2019年 4月 1日 ～ 2020年 3月 31日</p> <p>(2) 実施場所 木曾川文化会館</p> <p>(3) 受益対象者 主に一宮市に在住勤務の市民。子どもから大人まで文化芸術活動に興味のある方。各回150～250名。のべ600名～1000名</p> <p>(4) 実施体制 ・木曾川文化会館にて年4回程度、定期的にコンサート（公演）を開催する。 ・年度当初に1年間の演目を決定し、順次その内容を計画する。 ・コンサート（公演）プロデュース及び運営・開催にあたり、舞台スタッフとしての技術的なレベルアップを目指しつつ、毎回出演者と工夫を凝らし、よりお客様に満足いただけるコンサート（公演）の実現に努める。</p> <p>(5) 具体的な内容 ・公演時間は1時間半～2時間程度を目安とする ・公演内容に関しては、音楽、演劇、ダンス、落語 等、ジャンルを問わずに対象とする ・出演者は、一宮市近辺出身および在住の演奏家や文化活動をする方。会員の推薦や、お客様からの要望等を参考に会員により出演者を選定し、出演依頼を行う ・舞台演出に関しては、演者と相談の上、木曾川文化会館の機能を十分に活かして実現する ・広報活動は、公的機関（役所、市民会館、公民館、図書館）等によるチラシ配布、および、新聞等の掲載、広報への掲載 等多岐にわたり効果的に行う ・チケット販売が発生する場合、各文化会館（木曾川、一宮、尾西）の他、協力楽器店、電話・インターネットによる予約販売等で販売を実施 ・会員は、公演プロデュース、広報活動、会場設営、音響、会場整理等、各種スタッフとして公演に参加する。</p>
事業のふりかえりとその生かし方	<p>・公演後、コンサート（公演）の演出などに関して演者と意見交換を行い、スタッフ間の反省も踏まえ、次回以降のコンサート（公演）に反映させる。</p> <p>・毎回の公演でお客様へアンケートを実施し、満足度や次回公演希望演目等の声を集め、次回以降のコンサート（公演）に反映させる。</p>

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4（片面印刷）とする。

備考2 ページ数は2ページまでとする。

<p>当該事業を実施する理由</p> <p>※目指す地域・社会像や、事業を実施することにより、どのような課題が解決され、どのように目指す地域・社会に近づくか等を記載してください。</p>	<p>市民の誰もが身近なところで、質の高い文化活動にふれることのできる機会がある地域、人々が芸術や音楽活動を通じ、内面的なつながりや充実感を得ることができるまち。そういった豊かな心を育んだ人たちの住むまちこそが真の意味で豊かな社会であると考えます。</p> <p>本事業を通じて多くの方に文化に慣れ親しんでいただき、充実感を得ていただくことが、地域の文化意識を向上させ、人づくりにつながることを考える。</p> <p>平成30年度は4回のコンサート(公演)を実施し、毎回座席数に対し8割以上のお客様にご来場いただくことができた。常連のお客様のみでなく、新しく木曾川文化会館へ足を運ぶお客様も多く、会館の認知度を増やす役割も果たしていると考えます。今後も、引き続き定期的にコンサート(公演)を開催し、本コンサート(公演)を木曾川地区の定番イベントに成長させ、より多くの方に文化による心の充足を得ていただくことを目的と考える。</p>	
<p>費用負担について</p> <p>※受益者負担が求められるかどうか、公金で実施する理由などを記載してください。</p>	<p>受益者負担として入場料(500円～1,000円程度)を徴収する。</p> <p>過去59回までは本公演は入場無料で実施してきたが、それは入場料徴収ができない公民館講堂(使用料無料)での開催だったためである。</p> <p>木曾川文化会館オープン後の第60回以降のコンサート(公演)では、会場使用料が発生すること、および会場にふさわしい演目を出演者に依頼するにあたり出演料が上がること、に伴いお客様より入場料を徴収することとした。</p> <p>このような文化事業は、即経済効果を生む性質を持たないが、人の心を育み生き生きとしたまちづくりの一役を担うものである。公金にて補助いただくに足る事業であると考えます。</p> <p>支援事業になることで、参加住民にとって、参加しやすい料金でより質の高い文化に触れる楽しみや喜びを分かち合うことができると考える。</p>	
<p>事業スケジュール</p>	<p>時期(月)</p> <p>2019年4月～ 2020年3月</p>	<p>内 容</p> <p>第70回～73回の計4回のきそがわふれあいコンサート(公演)の開催にむけ、出演者・演目の決定、打ち合わせの実施、内容検討、チケット販売、コンサート(公演)開催、および反省会実施</p>

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4(片面印刷)とする。

備考2 ページ数は2ページまでとする。

一宮市市民活動支援事業に係る収支予算書

団 体 名 木曾川文化創造ワークショップ

事業の名称 きそがわふれあいコンサート (公演)

収入

科 目	金額 (円)	内 訳
一宮市支援金	638,400	
事業収入	600,000	1,000 円×150 人×4 回
自主財源	0	<input type="checkbox"/> 会費収入・寄付収入より <input type="checkbox"/> 他事業の収入より <input type="checkbox"/> その他 ()
計	1,238,400	

支出

科 目	金額 (円)	左記のうち 支援金算出額 (円)
報償費	320,000	320,000
旅費	0	0
印刷製本、消耗品費	140,000	140,000
食糧費	44,000	16,000
通信費、手数料	100,000	100,000
備品費	0	0
人件費	374,400	374,400
使用料、賃借料	260,000	260,000
その他	0	0
計	1,238,400	1,210,400

支出科目の内訳

科 目	金額 (円)	内 訳※ ¹
	支援金算出額 (円)	
報償費	320,000	出演者謝礼 80,000 円×4 回=320,000 円
	320,000	
旅費	0	
	0	
印刷製本、 消耗品費	140,000	チラシ・ポスター印刷代 20,000 円×4 回 チケット印刷代 3,000 円×4 回
	140,000	プログラム印刷代 7,000 円×4 回 消耗品 5,000 円×4 回
食糧費	44,000	スタッフ昼食代 500 円×12 人×4 回=24,000 円 (0 円) 茶菓子代 1,000 円×4 回=4,000 円 (0 円)
	16,000	出演者昼食代 1,000 円×4 人×4 回=16,000 円
通信費、 手数料	100,000	チラシ案内郵送料 20,000 円×4 回=80,000 円 チケット販売手数料 5,000 円×4 回 =20,000 円
	100,000	
備品費※ ²		
人件費	374,400	当日スタッフ費用 @900×7h×12 人×4 回=302,400 円 チラシ、プログラム作成等 @900×20h×4 回=72,000 円
	374,400	
使用料、 賃借料	260,000	会場使用料(木曾川文化会館 午前・午後 備品使用料込) 50,000 円×4 回=200,000 円
	260,000	著作権使用料 15,000 円×4 回=60,000 円
その他		

※1 一部が「支援金算出額」となる場合は、その該当分のみを () 書きで再掲してください。

例) スタッフ費用 @1,000 円×5h×2 人=10,000 円 (@900 円×5h×2 人=9,000 円)

※2 備品費を計上する場合は、内訳欄に購入理由も記載してください。